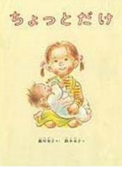




2歳児クラス 6月 第1回 「ちょっとだけ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保：「こんにちは」絵本を持って登場。「お友達のなっちゃんがお姉ちゃんになったんだって」と絵本を提示。 講：子どもを物語に引き込み「なっちゃんと赤ちゃんのこと教えてあげる」とお話を始める。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①なっちゃんの成長を感じ取れるように読み進める。 ②場面ごとになっちゃんの頑張りに対して称賛する。 ③「なっちゃん」が「お姉ちゃん」になって成長し1人で行動する姿を通して「自分も頑張ろう」と思えるようにお話を終える。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> 絵本持って登場。 	

がくしゅうタイム

活動①		ねらい	巧緻性	好きな色の折り紙を選び、指先を使って紙をちぎることができる。	
設定	折り紙をちぎってコップに貼り、美味しいジュースを作しましょう。				
つなぎ	<ul style="list-style-type: none">講：「なっちゃん、お姉ちゃんになって頑張ってたね。先生お話ししてたら何だか喉かわいたな」保：「美味しいジュースはいかがですか？」とプリントと折り紙を持って登場。				教材
	<ul style="list-style-type: none">講：「美味しそう！ジュースください」保：「はいどうぞ」と空のコッププリントを渡す。講：「？？？コップが空っぽですけど」保：「そう！今日は自分でジュースを作ってください」と折り紙2種を提示。 「〇〇先生はこっち（黄色）とこっち（ピンク）どっちが好き？」と聞く。講：子ども達と折り紙の色「ピンク（桃色）」「黄色」の名称を確認と同時に感覚行動を入れながら、具体物（いちごミルク・桃・バナナ・レモン等）に例えてイメージを広げ、好きな色を「こっち」と言いながら指さして見せる。保：今日は好きな色の折り紙、おはじき3個と交換です。				P1（両面テープ付） 折り紙1人各1枚 （ピンク・黄） 皿（ちぎった紙入れ、 テープゴミ入れ兼用）
活動内容	<div>数にチャレンジ</div> <ul style="list-style-type: none">講：見本行動。多数のおはじきが入った皿を提示し、その中から子ども達と一緒に「いち・に・さん（ストップ）…全部で3」とおはじきを片手に乗せながら数えて見せる。講：おはじきと交換で折り紙を受け取る。 ※「ください」「ありがとう」の言葉のやり取りもしっかりと見せる。 制作見本：①「よーし」と腕まくりをして意欲的な姿勢を見せてから「びりびり」と言いながら、紙を持つ手を前後にひねる様に動かしちぎる。この時、左右に引き合っても切れない失敗の見本も見せる。また小さくちぎり過ぎる子には丁度良い大きさを「このくらい」と見せながら皿に入れる。 ②ある程度の量が切れたらコップの両面テープを剥がし貼っていく。 「みんなも作る？作りたい人」と子ども達の意欲をかきたて、子ども達の活動に入る。講保：おはじき3個と交換で折り紙を選ばせながら配布。同時にプリント、皿も配る。可能なクラスは少し離れた場所に折り紙を買いに行っても良い。 ※プリントは折り紙が切れた子から配布しても良い。子：折り紙をちぎり、切れた子から貼っていく。講保：ちぎるコツがつかめない子には手を添えて、また指先の力が弱くちぎれない子には紙の端に切り込みを入れるなどの適切なフォローをしていく。 ※早くちぎれた子には選ばなかった方の色紙を「ミックスジュースにしてみる？」などと渡し、時間調整を工夫する。又配布する折り紙の大きさの調整は、様子を見て自由に行ってみてください。講：ジュースが完成したら「みんないただきます」とジュースを飲むまねっこ。				保育士の役割
					<ul style="list-style-type: none">プリントと折り紙提示プリント、折り紙、皿配布ちぎれない子のフォロー残った折り紙片、皿の回収プリント回収

	<p>「どんな味？」など会話を楽しみながら、子ども達のことばを拾っていく。 「美味しかったね」と称賛。最後は「みんなで一緒にごちそうさま」の挨拶をしてプリント回収する。 ※<活動①>とこの後の<活動②>を入れ替えたり、「いただきます」の前に<活動②>を入れる等クラスの状況に合わせて変更可</p>			
	活動②	生活	布巾を使って机の上を拭くことができる	
問	布巾でテーブルを綺麗に拭きましょう			なし
設	<p>・講：「ごちそうさまの後は机を綺麗にしましょう」と布を提示。 ※活動①の「いただきます」の前に行っても良い</p>			教材
活動内容	<p>・講：「このままだと大きいから、みんなの手に合わせて半分こ」と布を半分に折り「手はパッ！」と広げて布に乗せ、机の隅から隅まで大きく拭く見本行動。 「きゅっきゅっ」「ごしごし」「びかびか気持ちいいね」などの言葉がけをしながら拭く。「みんなの机も綺麗にしようか！」と布配布。</p>			さらし布 1人1枚 意欲ロープ ※布は予め濡らして準備しておいても良い
	<p>・子：見本同様、布を「半分こ」と言いながら半分に折り、テーブルを拭く。</p>			保育士の役割
	<p>・講：「机が綺麗になったら今度は布巾も綺麗にしなくては」と子ども達と一緒にその場で「ゴシゴシ」布を洗うように手を動かして「洗濯ごっこ」も楽しむ。 最後は布を「パン！パン！」広げて、準備した意欲ロープに干し「これでみんなもこれからお手伝いできるね。お母さんや先生がきっと喜ぶよ！」と称賛。今後の生活に期待を持って活動を終了する。 ※意欲ロープは保育士2人で持ち、子どもの手の届く高さに提示するか又は予め保育室の隅に結ぶなり固定させて使用する。 ※洗濯バサミの扱い方は指先の動きしっかり見本を見せて行う。それでも解らない子・指先に力がなく1人では開けない子には個別に指導する。</p>			<p>・さらし布配布 ・意欲ロープ提示 ・洗濯バサミの扱えない子のフォロー ・称賛</p>

	数チャレ	数	多数のおはじきの中から「3個」数えて取ることができる。	教材
問	おはじき「3個」を数えて取り、折り紙と交換しましょう。			おはじき 皿
内	※<活動①>の中で実施します。			保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	なっちゃんの行動に対して子ども達と拍手をしたり、自分だったらどうするかを考えさせながら読み進めることが出来たか
活動①巧緻性	ちぎり方の見本をきちんと見せたか
活動②生活	テーブル拭きを楽しく見せる(提示見本)ことが出来たか 机の拭き方(布を手の大きさに畳む)、布の洗い方・干し方の指導が出来たか
数チャレ	子ども達と一緒に数えながら3個取る見本をきちんと行ったか

学習タイム♪

*** テーマ・生活 ***

楽しくお手伝い

●お手伝いの内容は、子どもの成長に合わせて、できること・興味を持ったものから少しずつ増やしていくと良いでしょう。
●先ずは今回の机拭きの様、大人の見守りも特に必要なく失敗もないものから始めると良いでしょう。
●お手伝いができた時には「ありがとう、助かるよ」と必ず褒めてあげましょう。次への意欲・自信につながります。

【お手伝い例】 脱いだ靴の整頓、食器並べ、洗濯物たたみ 等



このような行動は、家庭では家族の一員として、保育園では社会の一員としての自覚にもつながりますね。

今月のえかきリズム

*** にじ ***



えかきリズムの動画はこちら



学習タイムの動画はこちら

